

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から

敦賀市立中央小学校

6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果から見てきた本校児童の特徴と今後の取組についてお知らせします。

「教科に関する調査」の結果から

国語・算数どちらの教科でもほぼ全ての設問で正答率が県・全国の平均を上回り、大変良好な結果でした。

特に良好だった設問

国語…【物語】の一文の主語として適切なものを選択する。

【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。

【読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する(読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づく)。

算数…数量の関係を□を用いた式に表す。

直方体の見取り図を描く。

整数÷小数の計算が正しくできる。

円グラフを読み取る。

○普段の読書活動が物語の読解力にもつながっていると考えられます。

○算数の基礎的な知識や理解がしっかり定着している児童が多いです。

課題の見られた設問(国語)

【高山さんの文章】

みんな仲良く「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アきょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思っています。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイけるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

6年生がくふうしていること

- 遊びたいことを下級生に聞く
- ルールをくふうする

ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる

下級生に聞いたこと

- 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
- 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- 4年生 みんなが楽しそうであれよかった

【高山さんの文章】の中の□の部分に当てはまる文章を以下の条件に合わせて書く。

条件①「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。

条件②【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。

条件③60字以上、100字以内にまとめて書くこと。

出題の意図

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考え方が伝わるように書き表し方を工夫できるかどうかをみる。

本校児童に多く見られた誤答

条件②③は満たしているが、条件①を満たしていない。

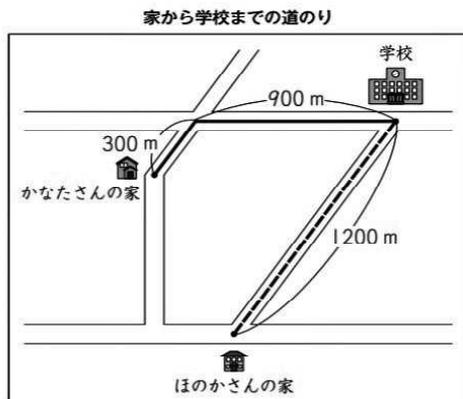
支援策

○文章を読み取る際に「事実」と「感想・意見」とを区別して捉えながら、内容や文章構成を理解する学習を充実させます。

○資料をもとに自分の考えをわかりやすく伝え合う交流活動を積極的に行います。

課題の見られた設問(算数)

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 かなたさん

2 ほのかさん

家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。

出題の意図

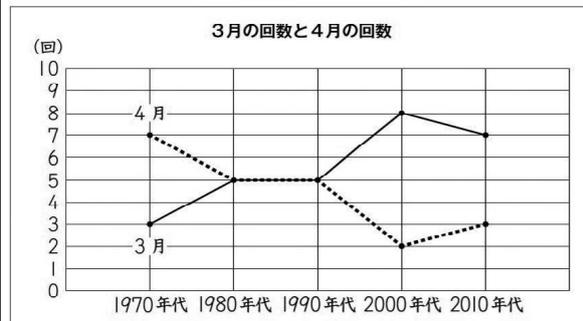
道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

本校児童に多く見られた誤答

二人の道のりが等しいことは書いているが、かかった時間の違いには触れていない。
(「どちらが速いか」は正解している。)

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のように折れ線グラフに表しました。



こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。



1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。



3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。



3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。

出題の意図

折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

本校児童に多く見られた誤答

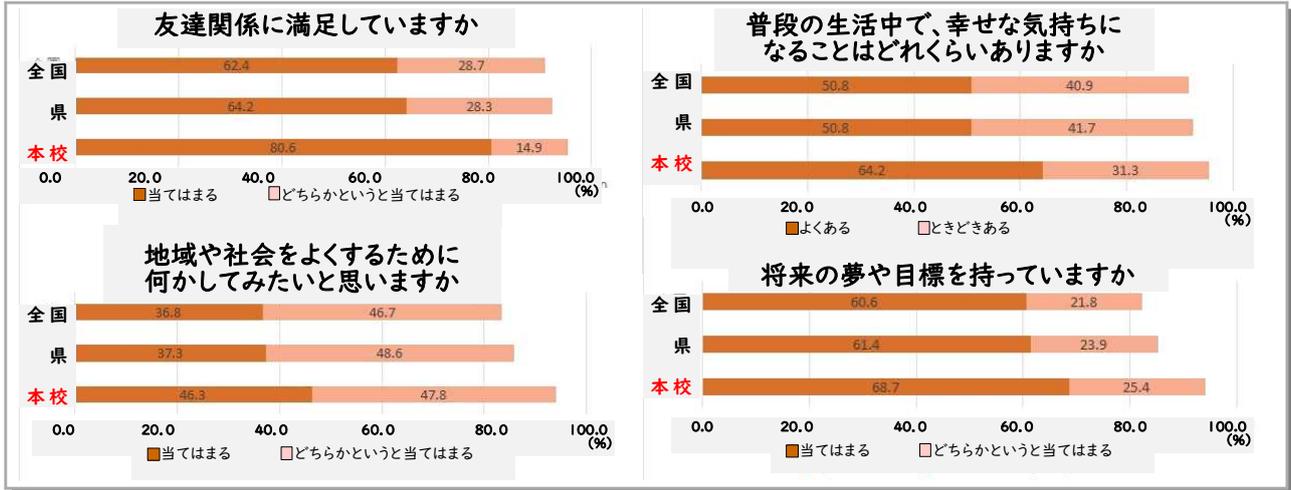
2000年代であることは書けているが、回数の違いを書いていない。

支援策

- 答えを説明する問題に取り組む際に、説明に必要な条件を確認し、意識できるよう支援します。
- 問題の解法を説明し合う活動を積極的に行い、質疑応答などの活動を通して、表現することの質を高めていきます。

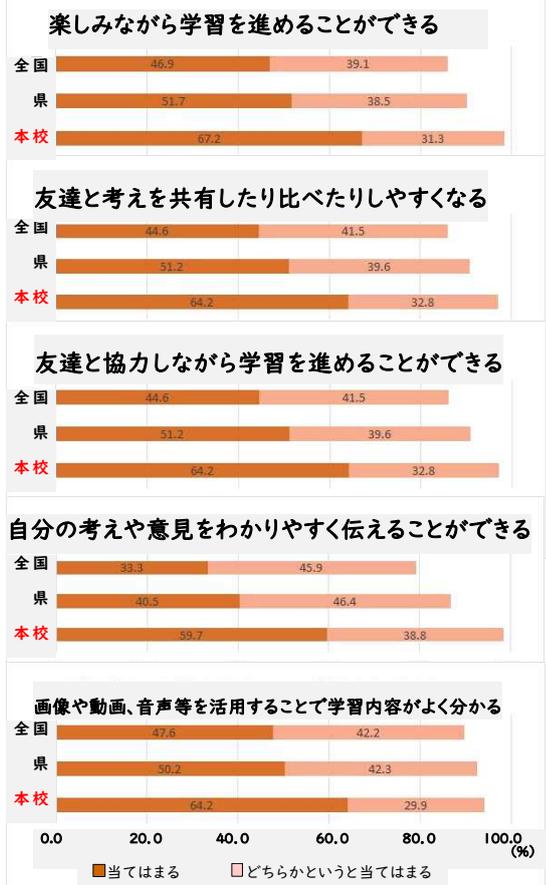
「質問紙」の結果から

本校児童の様子が特徴的に示された設問を紹介します。



上記の設問のほか「学校が楽しい」「先生は良いところを認めてくれる」「学校に相談できる大人がいる」などについても「当てはまる」と回答する児童の割合が非常に高く、学校が安心して過ごせる場所になっている様子が見られます。また、地域や将来に希望を持ち、前向きな気持ちで生活している児童も多いようです。今後もすべての児童の心と体の安全・安心を保障して、将来に夢を描けるような学校を目指して支援や指導に取り組んでいきます。

タブレット・PCなどICTを活用した学習についての質問



家庭学習についての質問



多くの児童がタブレットやPCなどのICT機器を活用した学習に意欲的で、操作のスキルも十分身につけています。自分の意見をまとめたり、友達と意見の交流をしたりするなど、その効果も感じているようです。一方、家庭では学習に活用する頻度は少なく、ゲームや動画視聴などの時間が増えています。学習用の端末を持ち帰り、家庭でも効果的に学習できるよう支援をしていきたいと思ひます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。